

起業家支援財団 事務局通信 NO.15

発行日 平成 25 年 5 月 15 日 (水)
発行 公益財団法人起業家支援財団
事務局 〒231-0003 横浜市中区北仲通 3 - 33
TEL 045-263-9222 FAX 045-263-9220
www.shienzaidan.or.jp info@shienzaidan.or.jp
発行責任者 羽田 清 編集 山成 冴子



YSB スクールの最後を飾る YSB グランプリ
表彰式を終えて記念撮影する発表者の皆さん

新緑の候を迎え、爽やかな季節となりましたが、皆様いかがお過ごしでしょうか。

3 月に開催しました定時理事会、評議員会には多数の方々にご出席を賜ると同時に、その後の懇親会も和気あいあいの中、相互の懇親を深めることができました。改めて御礼申し上げます。

当財団の活動も、この 3 月で「YSB スクール」を終了、また第 5 期学生起業塾も同じくこの 3 月に最終回を迎え、松井理事長による講話をもって予定通り終了し、4 月には新たに第 6 期生の学生起業塾が開講いたしました。今年はより実践的な起業塾にしていく方針です。

引き続き、ご指導、ご鞭撻のほど、宜しくお願いたします。

(専務理事 羽田 清)

●平成 25 年度定時理事会、定時評議員会開催

3 月 12 日 (火) 16 時より、崎陽軒本店 (横浜) 会議室において定時理事会と定時評議員会を開催しました。決議事項及び報告事項は以下のとおりです。

決議事項

- (1) 平成 24 年度の事業報告及び収支決算承認の件
- (2) 奨学生選考委員会委員の選任の件
- (3) 定款第 59 条株主権の行使に関わる件
- (4) 関内イノベーションイニシアティブ株式会社への出資金引き揚げについて理事長に一任頂きたい件
- (5) 資金運用について理事長に一任頂きたい件

報告事項

- (1) 第 6 期奨学生選考結果について
- (2) YSB スクールについて
- (3) 関内イノベーションイニシアティブ株式会社の運営状況について

また、今回は奨学金の返還義務について協議が行われました。各理事、各評議員の皆さまから頂いたご意見も踏まえつつ、現在事務局にて検討中です。なお、理事会、評議員会終了後、同じく崎陽軒本店にて松井理事長のご厚意により懇親会を開催、中華料理を囲み一同楽しいひと時を過ごさせて頂きました。

●第 5 期学生起業塾の開催

前回報告以降の学生起業塾は、第 38 回をフィールドワークとして昨年 11 月 24 日 (土)、12 月 1 日 (土) の 2 回に分け、関内フューチャーセンターが企画・開催した横浜フェアツーリズム (下記※参照) に参加、第 39 回は本年 1 月 29 日 (火)、第 5 期奨学生でもある先輩起業家の大木洵人氏による講演と奨学生によるビジネスプランの発表とディスカッションを、そして 3 月 5 日 (火) の第 40 回の第 5 期

最終回は第6期生も招待し、松井理事長より、「起業家が歩む3つの成長段階」というテーマで講話が行われました。（下記は第5期最終回 松井理事長による講話と熱心に傾聴する塾生の様子）



※フェアツーリズムとは

従来のような消費的な旅行ではなく、受入地の環境、文化、住民にも配慮し、フェアな関係を作っていこうという趣旨で、フェア・トレードの概念を導入し韓国の社会的企業が中心に推進している旅行。今回は横浜関内・関外の地域課題のうち、「回遊性を高める」プログラムとして、観光で、地域と地域、地域のさまざまな「ヒト」「ものごと」をつなげ、地域経済の活性化等、より魅力ある街づくりを目指すことを目的に企画されたものです。

●第6期奨学生決まる

応募総数64名。書類審査通過者48名。最終プレゼン審査の結果32名を選定。これに立命館大学ビジネスプランコンテスト入賞者1名を加え、33名が第6期奨学生として選ばれました。以下、大学別の構成です。当初と比べ、かなり大学の幅が広がってきました。

慶應義塾大学 6、慶應義塾大学大学院 3、横浜市立大学大学院 3、横浜市立大学 2、東京大学大学院 2、産業能率大学 2、以下各1名 横浜薬科大学、東京工芸大学、立命館大学、首都大学東京、横浜国立大学大学院、中央大学、千葉大学、麻布大学、明治学院大学、フェリス女学院大学、一橋大学、神奈川大学、専修大学、玉川大学、大阪市立大学

●第6期学生起業塾開講

4月23日（火）、上記の奨学生を迎え第6期学生起業塾が開講しました。通算で第41回目となります。

今回は、ジーパン学長で有名な八戸学院大学学長の 大谷真樹氏をお招きし、「革命の起こし方教えます！」というテーマで、起業家精神と起業の心得について講演いただきました。その後オリエンテーションを行い、当財団の奨学生としての心構えについて事務局より指導、学生同士の自己紹介を経て、懇親会を行い、お互いについての理解を深める場としました。

●かながわビジネスオーディション2013

本年2月7日（木）、パシフィコ横浜会議センターにて標記のビジネスオーディションが開催されました。当財団は実行委員並びに運営委員として本オーディションに参画していますが、実行委員会構成団体賞として「起業家支援財団賞」を贈呈しています。今回は応募総数137件の中から、神奈川県知事賞、同奨励賞のほか実行委員会構成団体賞（5つ）、その他団体賞（5つ）、来場者賞並びに審査委員特別賞が授与されました。起業家支援財団賞は明治大学の日高照一郎氏の「ジメチルエーテル燃料を用いる固体酸化物型燃料電池によるEV用補助動力源の開発」に贈呈しました。因みに県知事賞は株式会社片野工業片野明夫氏の「特許コロナ放電コア技術を活用した製品の開発と販売」に贈られました。

●YSB（横浜ソーシャルビジネス）スクール終了

全3期のうち、最終の第3期（1月～3月）が本年3月2日（土）の修了式をもって終了しました。第1期から第3期まで、受講生総数は約260名で、そのうち160名近い方々が修了されました。

●関内フューチャーセンター関連トピックス

- ①韓国語講座（有料）全3回（1月8日、15日、22日）を開催しました。
- ②歴史講座「商人の街・横浜を学ぶ」（有料）全3回（1月17日、31日、2月14日）を開催しました。
- ③モデル事業年度の終了にあたり、横浜市の方々もお招きして成果報告会を開催しました。（3月4日）

以上